

2023年5月11日

各位

株式会社エムティーアイ
 代表取締役社長 前多 俊宏
 (東証プライム・コード 9438)
 問い合わせ責任者
 専務取締役 松本 博
 TEL : 03-5333-6323

第2四半期(累計)連結業績予想と実績値との差異 および通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

2022年11月9日に公表しました第2四半期(累計)連結業績予想と実績値との差異および通期連結業績予想の修正について、下記のとおりお知らせします。

記

1. 連結業績予想の修正

(1) 2023年9月期 第2四半期(累計) 連結業績予想と実績値との差異

(2022年10月1日~2023年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 四半期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 12,700	百万円 200	百万円 0	百万円 △740	円 銭 △13.50※
今回実績値(B)	13,613	△18	187	△326	△5.95
増減額(B-A)	+913	△218	+187	+413	
増減率(%)	+7.2	-	-	-	
(ご参考)前期実績 (2022年9月期第2四半期)	12,975	599	292	123	2.25

※前回発表予想の1株当たり当期純利益は、2023年3月31日時点の発行済株式数(自己株式控除)で再計算した数値を記載した「2023年9月期 第2四半期決算短信」(2023年5月11日公表)の数値を記載しています。

【差異理由】

売上高については、連結子会社の株式会社ビデオマーケットにおける動画販売を主因に、当初予想よりも上回りました。

営業利益については、大手法人向けDX支援事業での低採算性案件への対応が続いていることに伴い売上原価が増加したこと、当社子会社のAutomagi株式会社にて展開するAI事業の受注が伸び悩んだことを主因に、当初予想よりも下回りました。

経常利益については、当初は持分法による投資損失を見込んでいたところ、持分法適用関連会社の業績改善により持分法による投資利益を計上したことにより、当初予想よりも上回りました。

親会社株主に帰属する四半期純損失については、経常利益の上振れに加え、持分法適用関連会社の第三者割当増資を実施したことにより当社出資比率が低下したことに伴い、特別利益として持分変動利益を計上したことを主因に、当初予想よりも上回りました。

(2) 2023年9月期 通期連結業績予想の修正

(2022年10月1日～2023年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 26,000	百万円 800	百万円 400	百万円 △600	円 銭 △10.94 [※]
今回修正予想(B)	26,800	200	400	△400	△7.29
増減額(B-A)	+800	△600	0	+200	
増減率(%)	+3.1	△75.0	0.0	-	
(ご参考)前期実績 (2022年9月期)	26,479	870	485	△930	△16.99

※前回発表予想の1株当たり当期純利益は、2023年3月31日時点の発行済株式数(自己株式控除)で再計算した数値を記載した「2023年9月期 第2四半期決算短信」(2023年5月11日公表)の数値を記載しています。

【修正理由】

2023年9月期の通期連結業績予想については、当第2四半期(累計)における実績において直近予想との差異が生じたこと、および大手法人向けDX支援事業での低採算性案件への対応、AI事業の受注の伸び悩みが続くことを鑑み、売上高は上方修正、営業利益は下方修正、経常利益は据え置き、当期純利益は上方修正します。

<見通しに関する留意事項>

本資料における業績の見通しは、当社が本資料発表時点で入手可能な情報による判断、仮定および確信に基づくものであり、今後の国内および海外の経済情勢、事業運営における内外の状況変化、あるいは、見通しに内在する不確実な要素や潜在的リスク等、さまざまな要因により実際の業績は見通しと大きく異なる結果となり得ることがあります。なお、リスクや不確実な要素には、将来の出来事から発生する予測不可能な影響等も含まれます。

以上

【お問い合わせ先】

株式会社エムティーアイ
IR室 e-mail: ir@mti.co.jp
URL: <https://ir.mti.co.jp>